



企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
井上 啓太

弊社は、ミッション「一人でも多くの患者さんに、良質で・負担の軽い・信頼される幹細胞治療をお届けする」を掲げ、ビジョン「再生医療導入をサポートし、質の高い培養幹細胞を提供することで、医療機関から最も信頼される再生医療ベンチャー」を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年の売上高100億円達成に向け、年率20%程度の成長を目指す。弊社は東京大学整形外科教室と共同研究し、患者様に対して高品質な幹細胞を安定生産する独自の細胞培養プロセスを開発した。様々な疾患をもつ多くの患者様に当社が培養した幹細胞が投与され有効性が示されており、今後国内外で増加する幹細胞治療の需要に合わせて細胞培養受託サービスの提供を拡大する。

課題

弊社の提供する幹細胞は優れた機能性（安全性・有効性・低侵襲性）、品質安定性（高い歩留まり率）を有しているが、培養プロセスにおいて手作業・人判断に依存している部分があり、培養人材の獲得と育成が課題となっている。今後製造DX/AIの導入と培養技術の省コスト化により課題解決を目指す。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

弊社の開発した幹細胞培養技術は、その安全性と有効性に関して提携医療機関から高い評価を得ており、以下の施策で成長を目指す。
I. 生産力強化（①培養施設の拡張②製造DX/AIの導入③培養技術の高度化・省コスト化）
II. データプラットフォーム構築（①培養・臨床データ蓄積による安全性・有効性の証明②CRMシステム構築）
III. 国内保険収載の推進
IV. 海外展開①アジア進出②クラウド事業

実施体制

東京大学医学部出身の幹細胞生物学、医療に専門知識が深い医師を中心とした経営陣で実施体制を構築。東京大学や医師とのネットワークが強みとなっており、顧客からの信頼に寄与。
国内で約40の医療機関と提携しており（2025年6月時点）、東京大学整形外科教室および大阪大学産業科学研究所と培養技術の基礎研究を共同で行い培養技術のさらなる高度化にも積極的に取り組んでいる。



幹細胞培養室（東京お茶の水）

- 本社所在地：東京都千代田区神田駿河台3-4
- 事業概要：細胞培養受託サービス
- 常時使用する従業員：55名
（2025年6月時点）
- 現在の売上高：11億円
（2024年12月期）
- 法人番号：3010401139441
- Web：https://cpc-corp.jp/